

日時

2018年10月20日(土)
10:00-18:20

会場

國學院大學渋谷キャンパス
学術メディアセンター棟
5階会議室06

渋谷駅より日赤医療センター行バス(学03)
「国学院大学前」下車

Religious Cultures in Asia:

Mutual Transformations
through Multiple Modernities

アジアの宗教文化
モダニティの中での相互変容

広くアジアの宗教文化について、その近現代における相互変容を
念頭に置きながらワークショップ的に英語で議論するフォー
ラムを開催いたします。基調講演に加えて、10名程
の報告者からそれぞれの研究について報告
を受けて議論いたします。

参加費
無料

使用言語
英語

基調講演

Reinhard Zöllner (University of Bonn)
ラインハルト・ツェルナー

“*Eejanaika* and Religious Modernity in Japan”

「ええじゃないかと日本の近代宗教」

主催 國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所

プログラム等



当日のプログラム等については、
下記ウェブサイトをご参照下さい。
<https://www.kokugakuin.ac.jp/event/64299>

参加申し込み

関心を持つ研究者、大学院生を中心に参加を受け付けます。
参加をご希望の方は研究開発推進機構事務課にお申し込み
下さい(下記参照)。

※なお、お申し込みの際に、20日の国際研究フォーラムと
21日の国際シンポジウム(裏面参照)のどちら(あるいは両
方)にご参加を希望されるのか、ご明記下さい。

参加申し込み・お問い合わせ先

國學院大學研究開発推進機構事務課

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28
Tel: 03-5466-0104 Fax: 03-5466-9237
E-mail: kikou@kokugakuin.ac.jp

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

The countries, societies, and regions of Asia have each had their own unique experience of modernity (and hence in that sense we speak of multiple modernities). Those historical developments in turn have caused the religious cultures of each to undergo changes of their own.

This is not to say, however, that those changes have been generated solely by internal, domestic factors. With new developments in media and technology also playing a role, religious cultures have taken on varied forms and crossed borders. They have affected one another and transformed one another as well.

In this Forum, we are seeking reports on religious culture(s) in modern Asia whose basic focusing perspective is on these sorts of border crossings and mutual transformations. Their implications will be debated and discussed in a workshop format.

近現代のアジアは、それぞれの国や社会、あるいは地域において固有の modernity (その意味でそれは複数形の modernities であることになる) を経験してきているが、その歴史的展開を受けて、宗教文化もまた変化を遂げてきている。

他方で、その変化は必ずしも内的な要因からのみ生じたわけではない。メディアや技術の発展とも結びついて、宗教文化は様々な形で越境してきたのであり、かつそれによって相互に影響を与えながら変容してきたのである。

本フォーラムでは、このような越境や相互変容といったことを基本的な視点として、近現代のアジアにおける宗教文化について報告を受け、ワークショップ的な形で議論を深めたい。

Religious Cultures in Asia:

Mutual Transformations
through Multiple Modernities

アジアの宗教文化
モダニティの中での相互変容

国際シンポジウム

日本文化としての 宗教

— 海外の授業から —

〈〈 日 時 〉〉

2018年10月21日(日)

13:00~18:00

〈〈 会 場 〉〉

國學院大學渋谷キャンパス
学術メディアセンター棟5階会議室06

発題者

アラン・カミングス (ロンドン大学SOAS、UK)
ワリード・ファルーク・イブラヒム
(カイロ大学日本研究センター、エジプト)

コメンテーター

飯嶋 秀治 (九州大学)
木村 敏明 (東北大学)

司 会

平藤喜久子 (國學院大學)

参加費
無料

使用言語
日本語

【主催】

科研費(基盤B)「日本宗教教育の国際的プラットフォーム構築のための総合的研究」
(課題番号: 18H00615、研究代表者: 平藤喜久子)

【共催】

國學院大學研究開発推進機構日本文化研究所

【参加申し込み】

関心を持つ研究者、大学院生を中心に参加を受け付けます。参加をご希望の方は研究開発推進機構事務課にお申し込み下さい(表面、下段参照)。なお、お申し込みの際に、20日の国際研究フォーラム(表面参照)と21日の国際シンポジウムのどちらか(あるいは両方)にご参加を希望されるのか、ご明記下さい。